

2020年9月1日
 九州電力株式会社

大岳地熱発電所の発電を開始しました

—2020年9月1日から試運転による発電を開始—

当社は、2018年4月以降大岳地熱発電所（定格出力：14,500kW）の更新工事を進めてまいりましたが、本日、試運転による発電を開始しました。

今後は、法令に定められた保安検査、機器の調整、性能試験などを行い、2020年10月に営業運転を開始する予定です。

今回の更新工事では、既設発電所設備を運転しながら、隣接地に新たな設備を建設することで、発電停止期間の短縮に努めました。

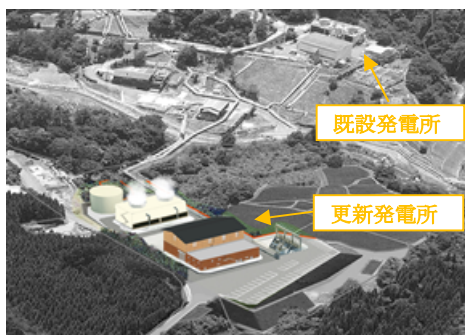
当社は、今後も地球温暖化への対応及び国産エネルギー有効活用の観点から、再生可能エネルギーの積極的な開発、導入に努めてまいります。

<大岳地熱発電所更新計画の概要>

	既 設	更新後
発電所名称	大岳地熱発電所	
所 在 地	大分県玖珠郡九重町大字湯坪	
発 電 方 式	汽力（地熱）	
出 力	12,500kW	14,500kW※
運 転 開 始	1967(昭和42)年8月	2020(令和2)年10月予定

※ 今回の更新計画では、現在の生産井及び還元井を継続して利用するため、地下から取り出す地熱流体の量は変わりませんが、発電システムの効率向上により出力が増加します。

【完成イメージ】



【更新後の大岳発電所（8月現在）】



以 上